

堺市財政は健全！ 全てのの会計で黒字決算

8月から9月にかけて市議会定例会が開催されます。引き続き皆様方からのご意見・ご提案をお寄せ下さい。今度の議会は、平成24年度の決算を審査する決算審査特別委員会も同時に行われます。平成24年度決算は、普通会計（一般会計）、特別会計、企業会計ともに黒字になっています。

**普通会計は単年度5・5億円
実質収支15・4億円の黒字**

普通会計は、単年度収支・実質収支ともに連続黒字で堺市の財政状況は非常に良いと言えます。

この財政を活用して、遅れている障害者・高齢者施策（入所施設・ショートステイ・ケアホームなど）の推進や中学校給食実現など市民要求実現に全力で取り組みます。

**国保・下水料金
引き下げに全力！**

国民健康保険会計は単年度約25億円黒字になり累積赤字を解消して実質約28億円の黒字です。

泉北コミュニティーさん それは事実ではありません！



度約12億円の黒字でこれも連続黒字を続けています。過去の赤字も解消のメドが経っています。高すぎる下水道料金引き下げに全力を尽くします。

国保料は4年連続で引き下げられました。他の政令市と比べて、まだまだ高い水準です。さらに引き下げを求めます。下水道事業会計は、単年

7月25日付「泉北コミュニティー紙」に「議案の賛否の公表は会派名だけで十分」と私の似顔絵を付けて日本共産党が個人名の公表に反対しているかのような報道がありました。しかし、それは事実ではありません。私は、個人名公表に賛成です。

現にこれまで、私の議会報告ニュースでいつも個人名で賛否の状況を伝えてい

ます。そのことからして、そんな主張をすることがないというのが理解いただけると思います。会派というのは政策や政治理念が一致する者が集まって構成します。だから、会派内で賛否が分かれる方がむしろおかしいのです。「泉北コミュニティー紙」はなぜあのような報道をするのか疑問です。

福建省崇武（そつぶ）海岸で出会った 日本人女性Nさんのこと ②

美木多在住 深山見悠さんより

春節で一時帰国していた時に、彼女の自叙伝を読ませていただく機会に恵まれる。その中でも福建省・泉州の生活の場面は、涙をこらえることが出来なかつた。大変辛かった思いが伝わってくる。また、地方で展開された文化大革命の様子は、興味深いものだった。

様々な困難を生き抜いたNさんの体験は私たちに沢山の教訓を残しています。Nさんの生き方、平和、人への優しさなど。特に注目したのは、戦争の真っ最中から中国人との友好・交流を始めている点です。そして、映画を見た後で川の洗濯場でNさんが思わず言った言葉は、真実を貫いていると思えました。

「あの頃は野外映画の放映がありました。いつもあつちこつちの村であるので子どもを連れて近所の人たちと見に行きました。だいたい抗日戦争のものが多く、日本の兵隊が村を侵略し家を焼いたり逃げ惑う農民を殺したり、家畜を引っ張っていたり、とても見られないすごいシーンもありました。明るく日毎日行く洗濯する川に行くともう何人か

が洗濯していました。そして、昨夜の映画の話で夢中でした。そして、日本鬼兵の恐ろしい話で盛り上がっていました。私は黙って聞いていましたがあんなに話が終わらないのでどうとう声を出してしまいました。」

「昨夜の映画は、私も見に行ったの。本当にあの映画に出てくるあの兵隊たちは悪いことをしてた。だが、日本人全部が悪いわけではないのよ。現に私も日本人。私は日本の女だけと間違った事はしていないつもり。中国人だからといって皆いい人とは言えないでしょう。といった。」

日本の侵略戦争を検証する場合に、この視点も大切だと思えます。あの場面であの言葉を言えたのは人間としての叫びだと思えました。尖閣諸島問題が起こっている今こそ「日中友好・交流」を庶民のレベルで進めなければならぬと思っています。平和憲法を生かして日中の交流をもっと盛んにして、お互い気楽に行き来が出来ることを願っています。

(完)

「日中友好・交流 堺・美木多連絡会（仮称）」発足へ！

6月9日講演の「帰ってきたおばあさん」は、700名を超えて大成功！参加者の表情は輝いていました。応援して頂いた皆様に感謝いたします。今後、日中友好の活動を継続させるため上記の会結成を計画しています。11月24日（日）開催の美木多自然まつりで日中友好コーナーを開設。また、日本滞在中のホームステイや日常生活をサポート。そして、中国訪問等の企画を考えています。日中友好協会大阪府本部の諸行事にも積極的に取り組む予定です。連絡先：浅田 072-297-1396